

2026 年 9 月 4 日

会 社 名：株式会社合人社グループ
本社所在地：広島県広島市中区袋町4-31
代表者名：代表取締役 福井 滋
問い合わせ先：取締役経営企画本部長 山本 計至
電 話 番 号：082-247-7475（代表）

当社グループが参画する 2 事業が第 2 回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」を受賞
「山陽小野田市 LABV プロジェクト」：大臣賞
「安岡地区複合施設整備事業」：特別賞

当社のグループ会社（グループ中核企業）である株式会社合人社計画研究所が参画する「山陽小野田市 LABV プロジェクト」および「安岡地区複合施設整備事業『やすらガーデン』」が、内閣府が実施する第 2 回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」において、それぞれ「大臣賞」「特別賞」を受賞しました。

2026 年 9 月 3 日（木）に中央合同庁舎 8 号館（東京都千代田区）で表彰授与式が開催されました。

「山陽小野田市 LABV プロジェクト」は、人口 20 万人未満の地方公共団体で事業化された事例部門（部門 B）において、最上位の賞である大臣賞を受賞しました。合人社計画研究所は、同事業を手掛ける山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社の代表社員として参画しています。

また、「安岡地区複合施設整備事業『やすらガーデン』」は、人口 20 万人以上の地方公共団体、国等で事業化された事例部門（部門 A）において、特別賞を受賞しました。合人社計画研究所は、同事業を手掛ける株式会社モア・ザン・グリーンの構成企業として参画しています。

本件について、各 SPC が別紙のとおり発表していますので、ご参照ください。

当社グループは、地域、社会への貢献と業容の一層の拡大を期して、PPP/PFI 事業への注力を続けています。今回、当社グループが参画する 2 事業が同時受賞したことを励みに、今後もより一層、当該事業部門での提案力、競争力を強化してまいります。

以上

2026 年 9 月 4 日

山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社
山口県山陽小野田市稲荷町 10-23

「第 2 回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」大臣賞受賞に関するお知らせ

当社が手掛ける「山陽小野田市 LABV プロジェクト」が、このたび、内閣府が実施する第 2 回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」において、「人口 20 万人未満の地方公共団体で事業化された事例部門（部門 B）」で最上位の賞である「大臣賞」を受賞したことをお知らせします。9 月 3 日（木）に中央合同庁舎 8 号館（東京都千代田区）で、表彰式が行われました。

「PPP/PFI 事業優良事例表彰」は、PPP/PFI 事業の中から先導的な優良事例を表彰し、地方公共団体等や民間事業者の PPP/PFI 推進のための機運醸成を図るとともに、地域における PPP/PFI 活用拡大、PPP/PFI 活用対象の拡大および民間事業者の創意工夫の最大化を図ることを目的とした表彰制度です。

第 2 回となる今回は 19 件の応募があり、外部有識者で構成される選考委員会による審査を経て、大臣賞 2 件、優秀賞 2 件、特別賞 2 件の計 6 件が受賞事業に選定されました。

本プロジェクトは、公的不動産の有効活用を図る日本初となる新たな官民連携手法「LABV 方式（Local Asset Backed Vehicle：公共は土地を現物出資、民間は資金出資して設立した官民協働開発事業体が事業を担う手法）」を採用し、公的不動産である商工センター跡地の再開発事業及びその半径 1km エリアの複数の公民事業候補地で連鎖的に事業を実施することにより、居住・交流人口の増加やまちに活気を生み出すことを実現することを目的としています。

LABV 方式の事業スキームを全国で初めて採用し、新たな PPP/PFI 事業の在り方を切り拓いたことに加え、全国共通の課題である遊休公有地の利活用に取り組み、複数の公有地を事業対象とすることで他の自治体等にも横展開できる汎用性を有していること、さらに複数の公有地を段階的に開発し、面的なエリアマネジメントを図ることで、段階的かつ長期的な事業計画を展開していることなどが評価されました。

授与式には、山陽小野田市 市長 藤田剛二と山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社 代表社員 株式会社合人社計画研究所 職務執行者 山本計至が出席しました。

なお、本プロジェクトは、2022 年度「地方創生 SDGs の達成へ向けた官民連携取組事例」においても、最上位の賞である「内閣府地方創生推進事務局長賞」に選定され、2023 年 2 月に表彰を受けています。

<参考>内閣府 第 2 回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」
https://www8.cao.go.jp/pfi/hyosho/yuryojirei_02_index.html



表彰式の様子

前列左から、山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社 代表社員 株式会社合人社計画研究所 職務執行者 山本計至、内閣府特命担当大臣 黄川田仁志氏、山陽小野田市市長 藤田剛二、

後列左から、YMFG ZONE プラニング 代表取締役 藏重嘉伸、株式会社山口フィナンシャルグループ 執行役員 地域共創事業本部長 村田直輝、山陽小野田市 企画部 部長 和西禎行

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社合人社計画研究所 取締役 経営企画本部長 山本 計至／広報担当 竹下 綾子
電話：082-247-7498

発信日	【令和8年9月4日】
発信元	【株式会社モア・ザン・グリーン代表企業：株式会社安成工務店】

報道関係者 各位

下関市「やすらガーデン」が内閣府 「第2回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」 特別賞を受賞！

～地域企業のチームによる官民連携のエリアマネジメントが評価～



株式会社モア・ザン・グリーン（代表取締役：中村 圭／代表企業：株式会社 安成工務店）が運営管理する安岡地区複合施設整備事業「やすらガーデン」は、この度内閣府主催「第2回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」において、**特別賞**を受賞したことをお知らせします。

本事業は、PFI (BT0方式)により老朽化した公共施設を集約・再整備すると同時に、民間事業者による余剰地活用を組み合わせた先導的な取組として評価されました。

9月3日（木）に中央合同庁舎（東京都千代田区）にて表彰式が行われました。



※(株)モア・ザン・グリーン 中村社長による取組発表



※表彰式の様子（左から(株)モア・ザン・グリーン中村社長、内閣府 鈴木民間資金等活用事業推進室長、内閣府 浦上政策統括官、下関市東京事務所 三浦所長）

1. 第2回 PPP/PFI 事業優良事例表彰について

PPP/PFI 事業の中から先導的な優良事例を表彰し、地方公共団体等や民間事業者の PPP/PFI 推進のための機運醸成を図り、地域における PPP/PFI 活用拡大、PPP/PFI 活用対象の拡大及び民間事業者の創意工夫の最大化を図る、内閣府主催の表彰制度です。

関連 URL https://www8.cao.go.jp/pfi/hyosho/yuryojirei_02_index.html

※本受賞については、8月28日（金）付で報道発表されています。

※PPP/PFI とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法です。

民間の資金、経営能力、技術的能力を活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供できるようになります。

表彰の種類	大臣賞（内閣府特命担当大臣表彰） 優秀賞（政策統括官賞） 特別賞（選考委員会表彰）
-------	---

2. プロジェクト概要

項 目	内 容
事 業 名	安岡地区複合施設整備事業「やすらガーデン」
事 業 方 式	PFI（BT0方式）
事 業 期 間	令和7年1月～令和22年3月
発 注 者	山口県下関市
受 注 者	★SPC（特別目的会社） 株式会社 モア・ザン・グリーン 代表企業 株式会社 安成工務店 構成企業 株式会社 森芳楽園 株式会社 合人社計画研究所 株式会社 プランドゥ 協力企業 株式会社 異設計コンサルタント 株式会社 戸田芳樹風景計画
事業の特徴	公共施設集約と民間企業による余剰地活用を組み合わせた分野横断型・複数施設型事業。公共エリアと民間エリアを区別せず、シームレスに回遊できる新しいエリアマネジメント。
エリア全体図	

3. 受賞のポイント

施設の老朽化、地域レジリエンスの向上、担い手不足による地域コミュニティの縮小等、他地域にも共通する複数の地域課題に対し、公共施設の複合化と余剰地活用を組み合わせることで同時解決を図るこの取組は、**下関市初の事例となった先進性**と、**他の自治体でも横展開が測れる汎用性**が評価されました。

また、施設の維持管理及びエリアマネジメントを担う株式会社モア・ザン・グリーンは、代表企業をはじめ**下関市内に本支店を置く地域企業で主に構成**されています。「これからの地域づくりを担えるのは、地域に根差した企業である」という代表企業の信念のもと、**地域の雇用と経済への貢献**についても大きな評価をいただきました。

4. 今後の展望

「既存の豊かな緑を活かし、公共と民間を融合させて「多世代交流拠点」の形成へ」

当社はこれまで、公共ゾーンと民間ゾーンを明確に区別せず、利用者目線でシームレスに回遊できる空間を設計し、新たな地域コミュニティの形成を実践してきました。

今後も行政×民間のベストミックスにより、エリア内における施設間のシナジーを生み出し、地域の賑わいと持続的なビジネスモデルを両立させてまいります。



5. 株式会社モア・ザン・グリーン 代表取締役 中村 圭コメント

このたびは、内閣府「第2回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」特別賞という大変栄誉ある賞を頂戴し、誠にありがとうございます。地域の皆さまと行政、そしてパートナー企業が一体となって進めてきた本事業が高く評価されましたことを、当社一同、大変光栄に存じます。

この安岡という地域で事業を継続可能な体制としていくにあたっては、社内だけでは十分でなく、地元で長く活動されてきた団体・協議会・民間事業者・金融機関などとの対話を重ねてまいりました。経済的な利益と社会的な利益、その両方を実現するためには、“地域のリアル”に一つ一つ向き合うことが何より大切だと考えています。

私たちが目指すのは、一過性の賑わいではありません。公共施設と民間施設が垣根を越えて広く長く利用されることで、訪れてくださった方々の暮らしが少し豊かになる。そうした価値あるエリアを育み続けることが、持続可能な地域社会につながると信じ、今後もエリア価値を高める取組を継続してまいります。

6. 本件に対するお問合せ

株式会社 安成工務店（株式会社モア・ザン・グリーン代表企業） 経営企画本部 経営企画室（担当：湯野） TEL：083-252-2410 FAX：083-252-2720 E-mail： h-yuno@yasunari.co.jp
関連 URL https://yasuragarden.jp/ （やすらガーデン HP） https://www.yasunari-komuten.com/ （安成工務店 HP）